

歯がきれいな山県っ子は

市内6小学校が第57回(平成28年度)岐阜県学校歯科保健優良校表彰



平成16年度から市内の保育園、幼稚園や小中学校で行っているフッ化物洗口や、小中学校での歯みがき指導などの活動の結果、平成24年から12歳児一人当たりのむし歯が県内で最も少ない市となっています。

こうした、児童や学校歯科医、教職員、各家庭などの地域で一体となった取り組みが認められ、市内6小学校が第57回(平成28年度)岐阜県学校歯科保健優良校表彰を受けました。

「歯がきれいな山県っ子」は普段どのような取り組みを行っているのでしょうか。

今回は、この中から「準県1位」を受賞した美山小学校、桜尾小学校、伊自良北小学校の3校の取り組みを紹介합니다。

園学校教育課 TEL22-6844

小学校の部

○中規模校

準県1位 美山小学校

奨励校 高富小学校

○小規模校

準県1位 桜尾小学校

準県1位 伊自良北小学校

奨励校 大桑小学校

○歯科保健推進校

富岡小学校



伊自良北小学校

めざせ北小 歯みがきレンジャー



健康委員会が計画した歯みがきキャンペーンで、すべての歯を丁寧にみがくことができるようにチェック項目を決め、すべて達成できた児童を「歯みがきレンジャー」として認定し、委員会手作りのバッジを渡しました。現在、18人の児童が「歯みがきレンジャー」として認定され、お手本として児童に呼びかけをするなどして活躍しています。

歯の健康によいおやつ作り

健康委員会が、自分たちで簡単に作ることができる「歯によいおやつ」はないか栄養教諭に相談し、「砂糖が少ない、歯ごたえがよい、ごまが入っていて栄養がある」などの特徴を生かしたごまクッキーを紹介してもらい、実際に作ってみました。各学級でレシピを紹介し、全校児童で試食しました。

「歯みがき名人」 「ぴちぴち歯肉」

3月には、一年間の歯みがきのまとめとして、「歯みがき名人」「ぴちぴち歯肉」の認定を学校歯科医の先生に行ってもらいます。

「全員認定」をめざし、認定写真を保健室に掲示して励みとしながら、認定されるまで何度も挑戦しています。

桜尾小学校

ヘルスプロモーション スクールの実践

目指す子どもの姿を「笑顔いっぱいさくらっ子 考えて動くさくらっ子」とし、学校全体で教育活動を行っています。総合的な健康づくりを、学校を中核として家庭や地域社会に進めています。

児童の主體的な取組



保健給食委員会で、どうすると全校児童が落ち着いて丁寧に歯みがきができるかについて話し合った結果、縦割り班の異学年でペアをつくり、ペアで見合いながら歯みがきをする「歯みがきキャンペーン」を考え、取り組みました。

個に寄り添った指導



歯科健診の結果、歯垢の付着、歯肉炎、CO(要観察歯)があった児童に、養護教諭が歯みがきの個別指導を行いました。一人一人歯列の違いがあり、苦手とする部分もそれぞれです。個に寄り添った指導をすることで、自分の歯列に合わせながらみがき方を考え工夫し、丁寧にみがく姿が定着しつつあります。

美山小学校

委員会活動・歯みがき指導 3周歯みがきをおぼえよう!



みがき残しのない歯みがきをするために「3周歯みがき」を推奨しています。歯みがき指導の際、保健委員が「3周歯みがき」の図を指差したり、あご模型を使ったりしながら、みがき方を自分たちで工夫し教えています。

仲良し班 ペアはみがき



異学年集団「仲良し班」による「ペアはみがき」は美山小学校の自慢の一つで、上の学年が下の学年に、自分の歯みがきの技を伝えています。プラークテスト液を塗ってあげたり、みがきにくい所のみがき方を教えてあげたりするなど、真剣な姿がたくさん見られました。

地域への情報発信

【歯と口の図画ポスターを地域へ】

毎年1年生が応募している県歯科医師会主催の「歯と口の健康に関する図画ポスターコンクール」に保健委員会も応募し、そのポスターを地域の公共施設やお店にお願いして貼っていただきました。18カ所の公共施設やお店に協力いただくことができました。